



オンライン勉強会

地域で、その人らしく暮らすためには、医療・介護サービスはもとより、社会福祉協議会が行っている、助け合い・生活支援・フレイル予防が重要であり、人とのつながりを通じてその人らしい暮らしの環境をいかにつくっていくかということです。

「地域リハビリテーション」を今一度紐解き、その人らしい暮らしのサポートとは何か、共にみませんか？ご参加お待ちしております。

【と き】 5月26日（金） 午後7時～

【テーマ】 私らしい暮らしの提案 地域リハビリテーションとは！～

【申し込み】 高知県リハビリテーション研究会ホームページより

【主催】 高知県リハビリテーション研究会

【内容】 講義 7:00～

地域リハビリテーションとは

高知県リハビリテーション研究会 理事長

南国中央病院 院長 宮本 寛先生

対談 7:40～ 8:40

社会福祉協議会の役割

ゲスト

豊中市社会福祉協議会

事務局長 勝部 麗子さん

1987年社会福祉協議会入職、ボランティアセンター・小地域福祉ネットワーク、当事者組織などの職歴を基盤に、コミュニティソーシャルワーカーとして、誰もが地域で活躍できるプロジェクトを地域・企業の人々と共に次々と立ち上げた。NHKのドラマ「サイレントプア」のモデルになり、放送大学、プロフェッショナル仕事の流儀」にも出演

厚生労働省社会保障審議会の特別部会委員として生活困窮者自立支援法策定にもかわり、全国で講演をおこなうなど、あらゆる支援者を応援するため全国を駆け巡っている。

司会 高知県リハビリテーション研究会理事

土佐町森地域集落支援員 山首 尚子